

# やらのまかん新聞

2020 新年号

## 岐阜県議会議員 松岡正人 県政報告

### 新たな時代を迎える決意

「平成」から「令和」の時代を迎えて、歴史的な大きな節目となりました。10月には「即位礼正殿の儀」が行われて天皇陛下が御即位を内外に宣明され、11月には「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」そして「大嘗宮の儀」が執り行われました。「わが国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与できるよう…」という天皇陛下のお言葉に感動し、弛みない努力をしなければと感じました。おかげ様で皆様に支えていただきながら県議会議員生活12年、これまでの経験を活かして、各務原市そして岐阜県の発展と教育や福祉のためにより一層頑張ります。

### 一般質問に込めた想い

12月12日 令和元年第5回定例会にて登壇

#### 1. スポーツ振興について

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた競技力向上の取組みについて
- (2) ジュニア世代の競技力向上に係る課題と今後の取組みについて



写真：フクロベア・福島由紀選手・廣田彩花選手は岐阜県のチームに所属し岐阜県在中

東京オリンピック・パラリンピックの岐阜県にゆかりのある強化指定選手へのエールを込めて、県の取組みについて知事にお尋ねしました。

少子化と教員の働き方改革などの影響で、ジュニア世代のスポーツ環境が激変していることから、県のジュニア世代の競技力向上に向けた取組みについて提案を含めて質問しました。

#### 2. 障がい者総合就労支援センターにおける定着支援と周知に向けた取組みについて

障がいのあるお子さんの親から、就労支援と定着支援についてご意見とご要望をいただいたことをもとに、来年オープンする「岐阜県障がい者総合就労支援センター」の機能と県民への周知、障がいのある方の労働環境について健康福祉部長にお尋ねしました。



#### 3. 木曾川流域の観光資源の可能性と広域連携について

各務原市は産業都市ですが、魅力ある観光資源もたくさんあることをアピールするとともに岐阜県の取り組んでいる「周遊・滞在型観光」に向けた観光広域連携に「木曾川中流域」を加える提案をし、知事に各務原市と近隣市町の観光資源の可能性をお尋ねしました。

※知事からは、「県としても重要な観光拠点としてとらえて支援していく」「コンセプトを明確に」という、とても前向きな答弁と提案をいただきました。

令和元年6月の定例会では、「シニア世代が生き生きと安心して暮らせるまちづくり」と「就職氷河期世代に対する就労支援と移住定住支援」について提案と質問をしました。

## ハザードマップ 見たこと、ありますか？



“減災”とは、災害による被害をできるだけ小さくする取り組みです。地震、津波、風水害など、自然災害は突然やってきます。あなた自身、ご家族、地域の皆さんで、しっかり備えましょう！

出典・内閣府ホームページ [http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/gensai/pdf/minna\\_web2010\\_01.pdf](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/gensai/pdf/minna_web2010_01.pdf)

各務原市では  
「洪水 ハザードマップ」  
「土砂災害ハザードマップ」  
「ため池 ハザードマップ」  
が公表されています。

ここ数年、台風や局地的豪雨の記録的な大雨によって甚大な被害が発生しており、まさに「想定外の常態化」が続いています。「明日は我が身」という危機感のもとで、防災や減災対策を進めていくことが重要です。

まずは自分の身を守るという自助の観点からも、自宅や職場のハザードマップを、ぜひ一度確認してください。

各務原市 防災ハザードマップ



## がんばれ消防団・水防団!!

大災害が発生したときの地域の防災や減災そして災害対応には、地元の消防団や水防団の活動がとても重要です。岐阜県においても消防団員数の確保や活動の支援は、最重要課題として取り組まれています。人口減少や高齢化に伴って難しい状況になりつつあります。

各務原市においては、消防団員数の確保はできていますが、地域ごとの消防団の配置や消防団員の偏在は大きな課題であり、その是正に向けた取り組みを消防団の幹部や市議の皆さんと検討し始めました。小学校区で消防団の配置などを見直してみるとよくわかると思いますが、それぞれの地域の皆さんが消防団や団員の偏在について、改めて考えて頂ければと思います。

写真：8月4日岐阜県消防操法大会にて6位(優秀賞)に入賞した各務原市消防団



ホームページ

facebook

ブログ



ぜひ一度ご覧ください

まつおかまさと  
松岡正人事務所

住所：〒504-0908  
各務原市那加織田町 2-5-1  
TEL：058-389-6665  
FAX：058-389-6676  
E-mail：shiwase@yaranaakan.jp



## 農林委員長としての活動

### 9月28日 豚コレラに関する説明会

国から「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更の概要について」の説明があったことを受けて、土曜日でしたが県庁で養豚業者やと畜業者、JA関係者などが集まって説明会が開催されました。昨日の夕方農政部から連絡があって、大変急な召集でしたが多くの関係者が集まり、私も県議会農林委員長という立場で参加をさせていただき、説明を受けるとともに、様々なご意見を聞かせていただきました。岐阜県としてはできるだけ早くワクチン接種に取り組んでいく方針が決まりましたが、流通の制限への懸念や風評被害対策など早急に取り組まなければならない課題が多くありました。予防的ワクチン接種と緊急ワクチン接種では費用負担等の違いもあるということですが、県議会としては費用負担や補助金、発生農場の再稼働など国に対して意見書を提出してしっかり訴えかけていかなければと思います。

### 11月2日 岐阜の木フェスタ2019

岐阜メモリアルセンターの芝生広場で開催された「岐阜の木フェスタ2019」の開会式に参加して、岐阜県議会農林委員長として来賓の挨拶をさせていただきました。岐阜県は「木の国、山の国」であり、こうしたイベントを通して、木のぬくもりや香りなどの素晴らしさを知っていただければと思います。たくさん木材関連業界団体や林業団体、企業のブースが出展されており、沐浴の体験や子供たちの工作体験、木のおもちゃやお土産などを見せていただきました。午後からは県立森林文化アカデミーで行われた「森のようちえん全国交流フォーラムIN岐阜」のイベントに参加して、基調講演を聴講させていただきました。



### 11月20日 農林委員会 閉会中協議会

午後から県庁にて閉会中の常任委員会委員協議会が開催され、CSF(豚コレラ)の対応状況と山地災害の防止について執行部から説明を受けました。CSF(豚コレラ)については、県民の関心度も高さを反映して、通常の委員会より多くのマスコミ関係者が傍聴していました。委員からも活発な意見や質問が出てきたので、CSF(豚コレラ)については、まだまだ事態が流動的であり、迅速な対応を私からも執行部にお願いしました。委員協議会の前には、農政部と林政部のそれぞれから国要望の詳細について説明を受け、終了後に一般質問に関する打ち合わせを担当部署と行いました。

## CSF(豚コレラ)は人に感染しません!!



平成30年9月以降、県内では家畜伝染病であるCSFの発生が続いています。CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。食品安全委員会の見解によれば、仮にCSFにかかった豚やいのししの肉等を食べても人体に影響はないと公表されています。

CSFの感染は中部圏から関東圏に拡大し、まさに「国家的な危機管理事案」の様相を呈する中、国はようやく予防的ワクチンの接種に踏み切りました。これを受けて、岐阜県では10月25日から26日にかけて19施設約4万頭への初回接種を無事に完了しました。

CSFワクチンを接種した豚の肉を食べても、人の健康に影響はありませんので、岐阜県産の豚肉を食べましょう!!

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/index-396.pdf>

農林水産省 CSF

検索

## ブログ抜粋

毎日更新して活動報告しています!

やらなあかんブログ

検索

### 9月3日 岐阜県産材の素晴らしさ

今日は、神戸の岐阜県人会会長さんのご案内で、「海外移住と文化の交流センター」と岐阜県の工務店さんが県産材を使って修繕した異人館を視察しました。神戸北野の異人館は数多くありますが、「風見鶏の館」や「萌黄の館」を訪れて、岐阜県産材を使用して修繕した事の説明をいただきました。改修の際に使用されている資材などを削ったりしたところ、100年以上前に建設された当時から岐阜県産材が使用されていた事がわかったそうです。岐阜県の森林や木材の質の高いことの証であり、もっと周知しながら活用していける可能性を実感しました。



### 9月22日 日韓SPORTS交流・成人交歓交流

各務原市で開催されている日本スポーツマスターズ大会バドミントン競技会は、日韓SPORTS交流・成人交歓交流も兼ねています。韓国の全羅北道の選手を中心に17人の韓国選手団を迎えており、昨夜は鶴船館での食事会でしたし今夜は宴会でおもてなしをする予定です。ゴールデンウィークに私達岐阜県選手団が韓国の忠誠北道でお世話になったので今回は岐阜に迎えていますが、韓国語が解らないのがかなり障壁です。日韓の国交が厳しい状況にあるなかで多くの選手が来日していただいたので、少しでも日本や岐阜を楽しんでいただければと思います。



### 9月26日 特別支援学校に関する要望

昨日の午後から岐阜県庁教育長室にて、各務原市長と教育長そして各務原市選出の県議会議員3人で、特別支援学校に関する要望を行いました。各務原市長から要望書が読み上げられた後、各務原市教育長から市内の特別支援教育の状況について補足説明が行われ、県議会議員からそれぞれ意見を述べました。各務原市内に特別支援学校を新たに設置することが要望書の内容でしたが、私からは各務原市立特別支援学校に小中学校部を新たに併設して、県教育委員会からのバックアップをお願いする提案をしました。各務原市の特別支援教育について、こうした形式で要望されるのは初めてなので、今後小中学生の特別支援教育の環境整備が大きく進展することを期待します。

(各務原市議会12月定例会で教育長から小中学校を市立で創設する答弁があり、新聞報道されました)

### 10月18日 スポーツ振興

昨日の決算特別委員会の小委員会で、地域スポーツ振興という点でいろいろな課題があるという意見がありました。具体的には、既存のスポーツ組織や団体と新しく組織された団体が、少子化の状況下で子供の取り合いをするような状況が起きているという意見でした。2020東京オリンピック、パラリンピックや現在開催されているラグビーのワールドカップなど、日本はスポーツイベントを通して大変に盛り上がっています。岐阜県も、競技スポーツ、生涯スポーツ、レクリエーション、障害者スポーツなど、多方面に渡ってしっかりとスポーツ振興に取り組んで行くように働きかけたいと思います。

(12月定例会の一般質問で問題提起しました)

### 11月14日 自民党岐阜県連 青壮年議連 研修



自民党岐阜県連の青壮年議員連盟の研修で、中濃・飛騨方面を今日と明日の2日間視察で訪問しています。はじめに岐阜県立森林文化アカデミーで、専修学校としての技術者の養成の取り組み、森の幼稚園など木育や生涯教育の実践状況をお聞きしました。岐阜県中山間農業研究所を訪問して、品種の開発や技術改良にとどまらず、担い手不足に対応する省力化やコスト削減、農産物の付加価値の向上など様々な取り組みをしていることを知りました。青壮年議員連盟の視察で、岐阜県が運営する施設を県内市町村の議員さんに視察していただくことによって情報発信でき、各市町村の行政に活かしていただくことが期待されます。

### 12月9日 県に対する要望

県庁のクラブ控室で、商工労働部労働雇用課と障がい者就労支援について、都市建築部都市整備課と「都市計画道路・岐阜鶴沼線と都市計画道路・日野岩地線」について、面談をしました。障がい者就労支援については、今回の一般質問で取り上げる予定ですが、特別支援学校などで指導していただいている企業の方のご意見を担当課に伝えました。都市整備課とは、都市計画道路の事業化に向けたスケジュールの確認と各務原市との連携について確認をするとともに、早期の事業化について要望をしました。来年度予算に向けて各所から様々な要望が出てくる時期であり、各務原市の要望事項についてしっかりと県行政に働きかけたいと思います。